
令和元年度（2019年度）活動報告書

熊本県博物館ネットワークセンター

令和2年7月豪雨により被災されたすべての方に対し、お見舞い申し上げます。

さて、熊本県博物館ネットワークセンターは、平成27年4月の設置以来、県内の博物館や資料館の連携を軸として、「いつでも・どこでも・だれでも」博物館活動に親しんでもらえるよう、共同企画展の開催、収蔵資料の情報共有化を図るための「熊本県博物館資料データベース」の運用・公開等のほか、企画展・移動展の開催、講座やフィールドミュージアムの実施、ミュージアムパートナーズクラブへの支援など、県民の方々が熊本の歴史や自然を体感できる取り組みを進めてきました。また、昨年度は、熊本県博物館連絡協議会の加盟館の皆様から会長に御推薦をいただき、協議会の事務局としても県内博物館の連携強化に努めているところです。

昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の流行により、当センターも休館を余儀なくされ、さまざまな活動が延期や中止となりました。今年5月に活動を再開したところですが、新型コロナウイルス感染症の流行は沈静化を見せず、今後は新しい生活様式に則した博物館活動が求められています。

また、この度の熊本豪雨による博物館被災に対しては、当センターにおいても可能な限り県内及び他県の協力博物館等と連携して、貴重な文化財のレスキューを実施しております。引き続き、県内博物館と共に貴重な文化財の継承や保全の活動を進めて参りたいと考えております。

これからも、県内博物館の活性化と、県民の皆様がいつでも・どこでも・だれでも博物館活動に参加できる環境づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和2年（2020年）8月18日
熊本県博物館ネットワークセンター
所長 金丸 政治

目 次

1	展示活動	
(1)	企画展示	1
(2)	移動展示	9
(3)	県市連携展示「熊本のいきものたち」	10
(4)	熊本県博物館ネットワークセンター阿蘇展示室	12
2	情報発信活動	
(1)	熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト	13
(2)	出版物	13
3	研修活動	
(1)	総合プロデューサー育成研修	15
(2)	スキルアップ研修	16
(3)	教員のための博物館の日	16
4	学習支援活動	
(1)	フィールドミュージアムへ飛びだそう！	18
(2)	熊本を知る講座	20
(3)	くまもとキッズミュージアム i n 合志	21
(4)	移動体験教室・講師派遣	22
(5)	団体利用	23
(6)	博物館実習・職場体験	23
(7)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度	23
(8)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ	24
(9)	学校移動展示用パッケージ運用	25
5	資料収集整理活動	
(1)	熊本県博物館資料データベース事業	26
(2)	熊本県学芸員等人材データベース事業	26
(3)	資料収集・整理状況	27
6	資料	
(1)	令和元年度（2019 年度）職員一覧	32
(2)	熊本県博物館ネットワークセンター条例	33
(3)	施設平面図	36
(4)	熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス	37

1 展示活動

(1) 企画展示

① 金峰山の地質

開催期間 平成31年(2019年)3月26日(火)～令和元年(2019年)5月27日(日)

協力 熊本博物館

観覧者数 975人

展示点数 101点

担当 上塚穰二、廣田志乃

(展示趣旨)

熊本市街地の西方から玉名市南西部にかけての地域は、金峰山(一ノ岳・標高665m)を中心とした山地で、“西山”とも呼ばれ、地元の人々の生活の場であり、信仰の場でもある。しかし、これらの山がかつて活動していた火山であるということは、あまり知られていない。そこで、金峰山地域の山々から採取した岩石とともに火山としての一面を紹介し、その成り立ちについて解説した。また、湧水や石材などの資源といった、生活との関連についても紹介した。なお、平成29年度、30年度に開催した講座「金峰山の地質」の内容を元に、関連する内容を追加して再構成したものである。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 金峰火山とは？

金峰山地域の概要と金峰火山の成り立ちをパネルで解説。

(主な展示資料)

金峰山地域のアナグリフ(国土地理院の3D地図)

(イ) 金峰火山をつくる岩石

金峰火山を構成する岩石を、古い火山を作った岩石(金峰火山古期噴出物)、三ノ岳・二ノ岳を作った岩石(金峰火山中期噴出物)、一ノ岳を作った岩石(金峰火山新期噴出物)の3つに分け、現地の写真と合わせて展示し解説。

(主な展示資料)

荒尾山、石神山、松尾町、玉名市南部、熊本市西区花園などで採取した岩石(金峰火山古期噴出物)、三ノ岳と二ノ岳、周辺で採取した岩石(金峰火山中期噴出物)、面木の採石場、金峰山山頂付近で採取した岩石(金峰火山新期噴出物)(標本)、岩戸観音、天福寺、石神山、流れ山、面木の採石場など(写真展示)

(ウ) 湖の堆積物芳野層

金峰カルデラ内にできたカルデラ湖で堆積した芳野層について、地質や堆積当時の気候を露頭写真や化石標本とともに解説。

(主な展示資料)

ブナ、ハリモミ、タカオカエデ、イヌシデ、ツガなどの植物化石(標本)、ゾウムシ、ゲンゴロウ、ウスキホシテントウなどの昆虫化石(写真・熊本博物館より借用)、珪藻化石(写真)、熊本市西区松尾町平山、河内町岳などに見られる露頭(写真展示)



(エ) 金峰火山の資源

熊本城の石垣や天覧標本をはじめとする金峰火山やその地域で採取した石材を紹介。また、金峰火山地区で採取した鉱物などを紹介。

(主な展示資料)

天覧石材標本（金峰火山に関連する岩石）、花岡山で採取した岩石、鱗珪石、ザクロ石、藍鉄鉱、磁鉄鉱、磨き砂など（標本）



(オ) 金峰山湧水群

環境省より平成の名水百選に選定された金峰山湧水群（20箇所）について、写真とともに紹介。また、水質調査の結果も紹介（分析：熊本県立第二高等学校）。

(主な展示資料)

三賢堂、長命水、天水湖、平山（北・南）の湧水など（写真）

(カ) 金峰山地域のこぼれ話

金峰山地域に伝わる話の中で地学と関連するものについて、パネルで紹介。

(内容)

不思議な石達 拝ヶ石巨石群、2つの熊本地震と奇跡の夫婦岩、和歌にも詠まれた肥後耶馬溪、金峰火山と夏目漱石小説『草枕』、檜垣と宮本武蔵 岩戸観音（パネル）

関連企画

展示解説

開催期日 平成31年（2019年）4月28日（日）

参加人数 35人

担当 上塚穰二、廣田志乃

② 水辺の生き物たち

開催期間 令和元年（2019年）6月4日（火）～令和元年（2019年）7月28日（日）

観覧者数 1,632人

展示種数 334種

担当 金子誉士、中藺洋行

(展示趣旨)

川、池、湿地などの水辺には独自の生態系が形成され、そこで見られない生き物が数多く生息している。しかし近年では開発や外来種の侵入などにより、身近であったはずの水辺の生き物の多くが簡単には見られない存在となってしまった。本展示は平成23年度に実施された「水辺の生き物」を再編成し、熊本県の淡水域に生息している多様な生き物たちを標本や写真、生体展示などで紹介した。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 生体展示

ロビー及び玄関にポスターを掲示し、興味を促す。ロビーの

熊本県博物館ネットワークセンター
令和元年度 第1回企画展

水辺の生き物たち

令和元年 6月4日（火）～7月28日（日）
(2019年) 午前9時～午後5時（月曜日休館）
熊本県博物館ネットワークセンター **入場無料**
〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695

休憩スペースには生体展示用の水槽を6個用意し、水辺の生き物たちを展示。

(主な展示資料)

アカハライモリ、ニホンスッポン、タガメ、オイカワ、カワニナ、トンガリササノハガイ、ゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウなどの生体。30種



(イ) 魚類

熊本の淡水魚類の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。回遊についてパネルで解説。

(主な展示資料)

ドジョウ、ミナミメダカ、オイカワ、タカハヤ、ドンコ、カマツカなどの標本、写真。15種

(ウ) 両生類

熊本の両生類の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。変態など、両生類の一生についてパネルで解説。

(主な展示資料)

ヤマアカガエル、タゴガエル、カスミサンショウウオ、ブチサンショウウオなどの標本、写真。17種

(エ) 爬虫類

熊本の水辺の爬虫類の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

ニホンイシガメ、クサガメ、アオダイショウ、ヤマカガシなどの剥製標本や写真。8種

(オ) 鳥類

熊本の水辺の鳥類の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

クロツラヘラサギ、マガモ、カルガモ、イソシギ、ヤマセミ、アカショウビンなどの剥製標本や写真。26種

(カ) 哺乳類

熊本の水辺の哺乳類の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

カワネズミの剥製、カワネズミの生息環境の写真。1種

(キ) 貝類

熊本の淡水貝類の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

イシガイ、ヤマトシジミ、トンガリササノハガイ、マツカサガイなどの標本や写真。18種

(ク) 甲殻類

熊本の淡水甲殻類の特徴と、県内で確認されている種を標本で紹介。

(主な展示資料)

ヌマエビ、テナガエビ、サワガニ、モクズガニなどの標本や写真。15種

(ケ) 水生昆虫類

熊本の水生昆虫の特徴と、県内で確認されている種を標本や写真で紹介。水生コウチュウ類、水生カメムシ類、トンボ類、カゲロウ・カワゲラ・トビケラ類について、説明のためのパネルを作成し、展示。

(主な展示資料)

ゲンゴロウ、ミズスマシ、ガムシ、ゲンジボタル、タガメ、アメンボ、ムラサキトビケラ、キイトトンボ、ムカシトンボ、コオニヤンマ、ミヤマサナエなどの標本や写真。198 種

(コ) 水辺の生き物たちの危機

レッドデータブックや外来種問題についての説明と、県内で確認されている外来種を剥製標本や液浸標本で紹介。

(主な展示資料)

ミシシippiaアカミミガメ、ウシガエル、オオクチバス、ブルーギルなどの標本。6 種



関連企画

展示解説

開催期日 令和2年(2019年)6月23日(日)

参加人数 25人

担 当 金子誉士、中藺洋行

③ 国立科学博物館・コラボミュージアム in うき 「生命のれきしー君につながるものがたりー」

独立行政法人国立科学博物館との連携事業

開催期間 令和元年(2019年)8月3日(土)～令和元年(2019年)9月29日(日)

観覧者数 2,320人

展示点数 73点

担 当 上塚穰二、廣田志乃

(展示趣旨)

地球が誕生してから46億年。私たち現代の人間が誕生するまでの間、地球やそこに住む生き物たちが歩んできた道のりを、約38億年前の地球最古の岩石、大型生物エディアカラ生物の化石、陸上に進出した植物化石や恐竜の全身骨格、哺乳類の化石などの標本・資料によりたどる。

(主な展示資料)

オデッサ隕石

イアス片麻岩(地球最古の岩石、約38億年前)



アノマロカリス、ピカイアなどのバージェス動物群
プシロフィトン（初期の原始的植物）
始祖鳥産状化石
ニッポノサウルス全身骨格（恐竜 4 m）
パレオパラドキシア（約1500万年前の海生哺乳類）
ナウマンゾウ（頭骨）とケナガマンモス（臼歯）



関連展示

熊本県内に残された「生命のれきし」

展示場所 学習ルーム横通路

展示点数 25点

担 当 上塚穰二、廣田志乃

（展示構成と主な展示資料）

（ア）海にすむ生き物たち

ウミユリ、サンゴ、モノチス、マンダフミガイ、
ムカシエンコウガニ

（イ）地球をおおった緑たち

リンボクの祖先、シダ類、ブナ、ヒシ

（ウ）大型化石

イノセラムス、メガロドン、貨幣石



関連企画

（1）化石レプリカを作ろう！

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター
学習ルーム

開催期日 令和元年（2019年）8月11日（日）

参加人数 80人

担 当 上塚穰二、廣田志乃



(2) 3Dぬりえと恐竜おりがみをしよう!

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター
学習ルーム
開催期日 令和元年(2019年)8月24日(土)
参加人数 70人
担 当 上塚穰二、廣田志乃



(3) 講演会「熊本県の土地の成り立ち」

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター
学習ルーム
開催期日 令和元年(2019年)9月8日(日)
講 師 田中 均 氏(元熊本大学教授)
参加人数 52人
担 当 上塚穰二、廣田志乃



(4) アロサウルス・バーチャル復元と3Dぬりえ

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター
学習ルーム
開催期日 令和元年(2019年)9月15日(日)
参加人数 80人
担 当 上塚穰二、廣田志乃

④ ちょっと昔のくらし探検X

開催期間 令和元年(2019年)10月8日(火)～令和元年(2019年)12月15日(日)
後 援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会
観覧者数 1,212人
展示点数 125点
担 当 國本信夫、迫田久美子

(展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単位に対応した道具を中心に紹介し、さらに今年度は、さまざまな“はかる”道具を通して、昔の単位が示す分量が感じられる展示コーナーを設け、暮らしの変化を実感することを目指した。

(展示構成と主な展示資料)

(7) 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも火をおこし、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

(主な展示資料)

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱、石臼

(イ) より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常で炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

(主な展示資料)

燭台、行灯、提灯、火鉢、こたつ、湯たんぽ、電気行火



(ウ) 洗濯と裁縫

今は水道の蛇口を開けば水が出るのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、たらいで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

(主な展示資料)

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏みミシン、紮台、仕事着、ドンザ



(エ) 田畑で働く

昭和 30 年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫を重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介。

(主な展示資料)

鋤、犁、田下駄、田植綱、雁爪、千歯扱き、足踏み脱穀機、箕、唐箕



(オ) 測る・量る

今は国際的に統一されたメートル法で長さや重さを表しているが、かつては長さは尺、重さは貫などの単位を使っていた。その頃に家庭や商店など、暮らしの身近で使われていた、さまざまな“はかる”道具を中心に紹介。

(主な展示資料)

鯨尺、曲尺、足袋型、棹秤、上皿天秤秤、一升枰、斗枰、一升瓶



(特記事項)

学校団体見学 5校

見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけなどを実施。



⑤ レンズでのぞこう！植物のせかい

開催期間 令和2年（2020年）1月7日（火）～令和2年（2020年）3月15日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館に伴い、2月29日（土）で終了

観覧者数 737人

展示点数 標本74点

担 当 金重雅彦、前田哲弥

（展示趣旨）

近年、コンパクトデジカメやスマートフォンなどの手軽に写真を撮影するツールの発展がめざましい。また、撮影した写真は、インターネットを介して同じ興味や趣味を持つ者同士で見せ合ったり、共有したりするなどのコミュニケーションも盛んになってきている。

本展示では、これらの手軽に写真を撮影できるツールを用いた植物の世界の観察法や観察できる事柄の紹介を通して、手軽にできる自然観察や植物への興味を促し、さらには、身近な郷土の自然や環境への理解や愛着を高めることを目的とする。

（展示構成と主な展示資料）

基本的な観察の方法を解説するとともに、植物の体の各部での観察で観られる様々な特徴や働きを解説した。また、マクロレンズを用いた観察を体験できる体験キットを設置した。

（ア）はじめに

展示の概略、自然観察、レンズを利用して拡大する機器、本展示で取り上げる観察法などの解説

（イ）花をのぞこう

花の基本構造、各部分の役割、花の観察の例を解説

（主な展示資料）

ソメイヨシノ、ヤマザクラ、ミドリハコベ、キュウリグサ、マメゲンバイナズナ、ネナシカズラ、マコモなど

（ウ）葉をのぞこう

葉の基本構造、各部分の役割、葉の観察の例を解説

（主な展示資料）

コバノガマズミ、アラカシ、イチョウ、ナツメ、イロハモミジ、リンボク、エビヅル、ムクノキ、セイヨウヒキヨモギ、チヂミザサ、ススキなど

（エ）果実・種子をのぞこう

果実・種子の基本構造、各部分の役割、果実・種子の観察の例を解説

（主な展示資料）

コセンダングサ、フユイチゴ、オカダイコン、メナモミ、キウイフルーツ、イタドリ、セイヨウタンポポ、ムベ、ホトケノザなど

（オ）いろいろみてみよう

植物だけでなく、様々な生物や鉱物など自然の事物の観察の例を解説するとともに、ミュージアムパ



ートナーが実際に撮影した写真を紹介。

(2) 移動展示

① 第一回荒牧英男写真展

阿蘇かみしきみの人々～荒牧英男さんの写真が伝える上色見の歩み～

会 場 阿蘇フォークスクール

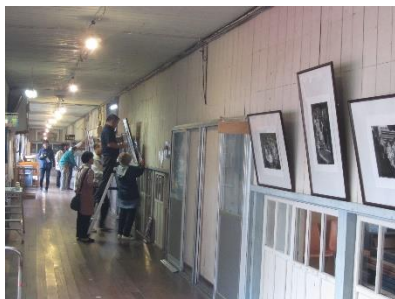
開催期間 令和元年（2019年）10月20日（日）～令和元年（2019年）11月23日（土）

観覧者数 170人（ノートに記載のあった人数）

展示点数 50点

展示概要 高森町上色見で写真を撮り続けた故荒牧英男氏の写真の中から、昭和12年から昭和30年頃
の上色見地域の暮らしを伝える写真を展示。

担 当 國本信夫、迫田久美子



② 水辺の生き物たち

会 場 長洲町 金魚の館

開催期間 令和元年（2019年）12月18日（水）～令和2年（2020年）1月16日（木）

観覧者数 8,153人

展示点数 標本：鳥類12種 爬虫類2種 両生類11種 魚類18種 昆虫類144種

写真：鳥類6種 爬虫類7種 両生類7種 魚類2種 昆虫類10種

展示概要 令和元年度第1回企画展「水辺の生き物たち」をもとに再編成した。淡水に生息している多
様な生き物たちを標本や写真などで紹介し、外来種問題なども取り上げた。

担 当 金子誉士 中蘭洋行



(3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」

「熊本県博物館ネットワークセンター」67万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を展示することで、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行い、さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することから、自然科学への興味の扉を開くきっかけとする。

熊本県博物館ネットワークセンターサテライト展示室での展示をきっかけに自然探究への興味・関心を高め、フィールドへと誘うことを目指す。

① 展示場所及び面積

展示場所：熊本博物館 2F 常設展示室

展示面積：286.75 m²

② 展示資料

区 分		展示資料種数	展示資料例
動 物	哺乳類	39種	カモシカ、スナメリ、ニホンモモンガ
	鳥類	57種	クロツラヘラサギ、ヤマドリ、ホオアカ
	爬虫類	16種	アカウミガメ、ニホンマムシ、ニホントカゲ
	両生類	16種	カスミサンショウウオ、トノサマガエル
	魚類	47種	アリアケギバチ、ムツゴロウ、ウツボ
	昆虫類	425種	オオルリシジミ、ダイコクコガネ、サツマゴキブリ
	貝類	246種	タイラギ、イシカワギセル、マツカサガイ
	その他	31種	ハクセンシオマネキ、クルマエビ、ヒゴキムラゲモ
植 物	維管束植物	63種	スタジイ、ツクシネコノメソウ、ハナシノブ
	菌類	15種	ツエタケ、キニガイグチ、タマアセタケ
	藻類	19種	オキチモズク、クロメ、マクサ、ムカデノリ
合 計		974種	

○ 哺乳類



○ 魚類



○ 昆虫類



○ 貝類



○ 維管束植物・藻類



○ 菌類



④ 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、ミュージアムパートナーズクラブの活動の成果等を展示している。

○ 雁回山の植物を観る会



○ 草木染めの会



⑤ フィールドへの誘い

熊本県を大きな博物館（フィールドミュージアム）として、県内各地域で観察される動植物や地質について紹介し、県民の自然に対する興味関心を引き出す。

○ 令和元年夏 雁回山



○ 令和元年秋 蘇陽峡



○ 令和元年冬 球磨川河口



○ 令和2年春 荒尾干潟



(4) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成 31 年 3 月 17 日(日)、阿蘇火山博物館 2 階に、博物館ネットワークセンター阿蘇展示室を開設しました。ここでは、当センターの資料により、阿蘇を中心に熊本の自然や文化について展示します。

① 熊本県内のいろいろな化石や岩石

展示点数 33 点

展示概要 化石、岩石、石材の 3 つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質について伝える。化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩石コーナーでは、熊本の代表的な岩石を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材コーナーでは、熊本の代表的な石材を展示。

担 当 上塚穰二、廣田志乃

② 阿蘇の稲作と農耕祭事

開催期間 令和元年(2019年)12月5日(木)～

展示点数 31 点

展示概要 阿蘇神社を中心に四季を通じて執り行われる一連の阿蘇の農耕祭事を写真で紹介し、また、それぞれが執り行われる時期に行われる農作業の写真とそこで使用されていた農具を紹介。

担 当 國本信夫、迫田久美子



2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的

インターネット上で資料データやイベント情報等
を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情
報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。

平成27年10月より運用開始。

参加館等

23館、3市町村（令和2年3月31日現在）

U R L

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

<https://kumamoto-museum.net/>



(2) 出版物

① 広報誌（熊本県博物館ネットワークセンターだより「熊本の自然と文化」）

(ア) 43号

発行日 令和元年（2019年）7月12日（金）

掲載内容 [イベント情報] 企画展、フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] バラ輝石（地学）

田植縄（民俗）

キベリマメゲンゴロウ（動物）

大津俊太郎創傷部位検査書（歴史）

ナンバンギセル（植物）

(イ) 44号

発行日 令和元年（2019年）10月29日（火）

掲載内容 [イベント情報] 企画展、フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] ナガエコミカンソウ（植物）

宝川内の柱状節理（地学）

枳（民俗）

マルタニシ（動物）

税法彙略（歴史）

(ウ) 45号

発行日 令和2年（2020年）3月10日（火）

掲載内容 [イベント情報] 企画展、学習支援活動

[資料紹介] 明治通宝十銭紙幣（歴史）

コバノガマズミ（植物）

杖立層（地学）

けんち枳（民俗）

チクシブチサンショウウオ（動物）

② 熊本県博物館情報誌「Museくまもと」

(7) vol.1

発行日 令和元年（2019年）9月24日（火）

掲載内容 [見どころ紹介] 熊本市現代美術館、熊本県立装飾古墳館、
天草市立本渡歴史民俗資料館
[コレクション紹介] 神風連資料館
[博物館のお仕事] 熊本県立美術館
[博物館紹介] つなぎ美術館、北里柴三郎記念館
[展示・イベント案内] 35館

(イ) vol.2

発行日 令和2年（2020年）3月26日（木）

掲載内容 [見どころ紹介] 島田美術館、玉名市立歴史博物館こころピア、
八代市立博物館未来の森ミュージアム
[コレクション紹介] 菊池神社歴史館
[博物館のお仕事] 熊本博物館
[博物館紹介] 田原坂西南戦争資料館、犬飼記念美術館
[展示・イベント案内] 24館

3 研修活動

(1) 総合プロデューサー育成研修

① 目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

② 研修会

○第1回 「高齢者と博物館ー持ちつ持たれつー」

主 催 熊本県博物館連絡協議会

熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 令和元年（2019年）6月28日（金）

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター

参加者 32名

講 師 追手門学院大学心理学部心理学科

教授 瀧端 真理子 氏

内 容 博物館を利用したでの認知症プログラムや教育プログラム等の海外の実践事例をもとに、ボランティアの活性化を図り、博物館と高齢者の双方向性を高めるこれからの博物館活動のより良い方法を学ぶ。



○第2回 「世界で生きていける子どもー美術館の役割」

主 催 熊本県立美術館、熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 令和2年（2020年）2月20日（木）

場 所 くまもと県民交流館パレア 会議室1

参加者 120名

講 師 兵庫県立美術館

館長 蓑 豊 氏

内 容 金沢 21 世紀美術館の完成前から完成後のドキドキ感を持たせた取組、兵庫県立美術館で安藤ギャラリーやイベントの事例、そして海外の事例をもとに、子どもの感性を育てる活動を考えるプログラムの立案方法を学ぶ。



(2) スキルアップ研修

① 目的

講座・実習をとおり資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおり、県内博物館の運営力向上を図る。

② 研修会

○第1回 「ふすまの下張の剥ぎ取り」について

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター
期 日 令和元年（2019年）9月6日（金）
場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム
参加者 10名
講 師 三木市文化財保護審議会委員 尾立和則 氏
内 容 ふすまの下張の剥ぎ取りの技術の向上を目指す。



○第2回 「収蔵民具の管理とメンテナンス」について（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター
期 日 令和2年（2020年）3月19日（金）
場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム
講 師 国立民族学博物館 教授 日高真吾 氏
内 容 民具を収蔵している館において、民俗専門の職員が配属されていない場合でも、収蔵民具の最低限の管理とメンテナンスが行えるよう基本的な知識と技術の習得を目指す。

(3) 教員のための博物館の日 in 熊本

① 目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらう。

② 研修会

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター、八代市立博物館未来の森ミュージアム
共 催 国立科学博物館、(公財)日本博物館協会、(公財)阿蘇火山博物館、
天草市立御所浦白亜紀資料館、天草ジオパーク推進協議会、熊本県環境センター、
熊本県伝統工芸館、熊本県立装飾古墳館、熊本県立美術館、熊本博物館、
くまもと文学・歴史館、清和文楽館、御船町恐竜博物館
後 援 文部科学省、熊本県教育委員会、熊本県博物館連絡協議会
期 日 令和元年（2019年）8月8日（木）
場 所 八代市立博物館未来の森ミュージアム
参加者 23名
内 容 ○講演

「次期学習指導要領における博物館活動」

講師

国立大学法人岐阜大学教育学部

准教授 今井 亜湖 氏



講演

○展示解説

八代市立博物館未来の森ミュージアム展示解説

○ワークショップ

①まる・さんかく・しかくで描こう～古代絵画教室

～、石の標本作り、創作キットで俳句を作ろう

②リ・グラスアートを作ろう、清和文楽出前講座、
パレオマイクロワールド～顕微鏡を使った微化石さがし～

③マイ竹箸作り、わたしのミニミニ美術館、
発泡スチロールスライサー操作体験&鳥形飛行機作り

参加者は①、②、③の中からそれぞれ1つを体験する。(事前申し込み)



展示解説

①の活動風景



まる・さんかく・しかくで描こう
～古代絵画教室～



石の標本作り



創作キットで俳句を作ろう

②の活動風景



リ・グラスアートを作ろう



清和文楽出前講座



パレオマイクロワールド
～顕微鏡を使った微化石さがし～

③の活動風景



マイ竹箸作り



わたしのミニミニ美術館



発泡スチロールスライサー操作
体験&鳥形飛行機作り

4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

① 海辺の生き物を観察しよう（荒天により中止）

開催期日 令和元年（2019年）6月30日（日）
場 所 上天草市 宮津海遊公園
参加人数 45人（参加予定人数）
概 要 上天草市海岸にて、内湾性・外洋性貝類を中心とした海洋生物の観察
講 師 松本達也 氏
担 当 金子誉士、中藺洋行

② 食虫植物を観察しよう

開催期日 令和元年（2019年）7月20日（土）
場 所 上天草市姫戸町 白嶽森林公園
参加人数 14人
概 要 白嶽森林公園を散策しながら、食虫植物を中心とした水辺の植物を観察
担 当 金重雅彦、中藺洋行



③ 川原の石を観察しよう

開催期日 令和元年（2019年）7月27日（土）
場 所 甲佐町 緑川乙女橋下流
参加人数 16名
概 要 緑川のいろいろな石の観察と上流の地質についての解説
講 師 田中均 氏（元熊本大学教授）
担 当 上塚穰二、廣田志乃



④ 昆虫を観察しよう

開催期日 令和元年（2019年）8月3日（土）
場 所 熊本市 雁回山
参加人数 25人
概 要 雁回山周辺に生息する昆虫の観察
担 当 金子誉士、中藺洋行



⑤ 天体観測①「夏の星空観測」

開催期日 令和元年（2019年）8月10日（土）
場 所 熊本市南区 熊本県民天文台
参加人数 55名
概 要 天体望遠鏡で夏の星空を観察
講 師 艷島敬昭 氏、中島尚 氏、高田祐一 氏
（熊本県民天文台スタッフ）
担 当 上塚穰二、廣田志乃、金子誉士



⑥ 水辺の植物を観察しよう

開催期日 令和元年（2019年）8月17日（土）
場 所 熊本市中央区 上江津湖
参加人数 12名
概 要 川や池の水辺に生育するさまざまな植物を観察。
担 当 金重雅彦、前田哲弥



⑦ 天体観測②「月の観察」

開催期日 令和元年（2019年）9月13日（金）
場 所 熊本市南区 熊本県民天文台
参加人数 59名
概 要 天体望遠鏡を使った月の観察と写真撮影
講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏
（熊本県民天文台スタッフ）
担 当 上塚穰二、廣田志乃、金子誉士



⑧ 地層と化石を観察しよう

開催期日 令和元年（2019年）10月26日（土）
場 所 上天草市松島町 千巖山および周辺
参加人数 18人
概 要 地層や化石の観察と天草上島の特徴的な地形についての解説。
講 師 田中均氏（元熊本大学教授）
担 当 上塚穰二、廣田志乃



⑨ 落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 令和元年11月16日（土）
場 所 和水町 肥後民家村
参加人数 8人
概 要 和水町肥後民家村内を散策しながら樹木等を観察し、落ち葉を集めた。観察終了後、園内で、集めた落ち葉を使った図鑑作り
担 当 金重雅彦、前田哲弥



⑩ 水辺の冬鳥を観察しよう

開催期日 令和2年（2020年）1月26日（日）
場 所 熊本市中央区 上江津湖
参加人数 12人
概 要 上江津湖に訪れる水辺の冬鳥を中心とした観察
担 当 金子誉士、中藺洋行



(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

① 貝類学講座

開催期日 令和元年（2019年）6月～令和2年（2020年）2月
偶数月 第3土曜日
会場 熊本県博物館ネットワークセンター
受講人数 34人（計5回）
趣 旨 熊本県内に生息する貝類について、見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関心を持ってもらう。
内 容 6月15日「総論 貝類ってどんな生き物」
8月17日「貝類の分類Ⅰ 腹足類（巻貝）」
10月19日「貝類の分類Ⅱ 斧足類（二枚貝）」
12月21日「貝類の分類Ⅲ 陸貝・淡水貝」
2月15日「貝類学応用編・貝類の標本の作り方」
講 師 松本達也 氏
担 当 金子誉士、中藺洋行



② 植物観察講座

開催期日 令和元年（2019年）6月～令和2年（2020年）1月 毎月第2土曜日
会場 熊本県博物館ネットワークセンター、ほか県内各地
受講人数 45人（計8回）
趣 旨 植物についての基本的な観察や記録の方法の講義や実習をとおして、調査に必要となる基礎的な知識や技術を得し、身近な自然に興味や親しみをもつきっかけを提供する。
内 容 「植物の分類」「写真撮影法」「生物スケッチ」「阿蘇の植物」「種子の観察」ほか
担 当 金重雅彦、前田哲弥

③ 地質学講座

開催期日 令和元年（2019年）7月～令和2年（2020年）3月
奇数月第3日曜日（9月、1月は第4日曜日）
※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会場 熊本県博物館ネットワークセンター、野外
受講人数 14人（計4回）
趣 旨 県南部と県北部の地質を比較することにより、熊本県の地質の成り立ちや九州中央部の構造運動について学ぶ。
講 師 田中 均 氏（元熊本大学教授）
担 当 上塚穰二、廣田志乃



④ 菊池川流域地域の祭り・行事・芸能

開催期日 令和元年（2019年）10月～令和2年（2020年）3月 毎月第2木曜日
会場 菊池市中央公民館
主催 菊池市教育委員会、熊本県博物館ネットワークセンター
受講人数 88人（計5回）

趣 旨 日本遺産菊池川流域で行われてきた季節ごとの祭りや行事、芸能を通して稲作にまつわる文化を学ぶ。

内 容 第1回 10月10日 暦と祭り、行事
第2回 11月14日 春の祭りと行事
第3回 12月12日 夏の祭りと行事
第4回 1月9日 冬の祭りと行事
第5回 2月13日 熊本の民俗芸能

担 当 國本信夫、迫田久美子



⑤ 古文書読み解き講座

開催期日 令和元年（2019年）10月～令和2年2月 毎月第1土曜日

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 11人（計5回）

趣 旨 当センターが所蔵する歴史資料（古文書）を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

使用資料 「牧興相判物」「御書出」「目録」ほか

担 当 中村圭子、堤将太、古澤広大

(3) くまもとキッズミュージアム in 合志

概 要 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター、ミュージアムパートナーズクラブ

会 場 合志市総合センター ヴィーブル

開催期日 令和2年（2020年）1月18日（土）、19日（日）

参加者数 1,959人（2日間合計）

（体験プログラム）

1月18日（土）

草木染めを体験しよう（①）、多色版画、リグラスアート（②）、化石レプリカに色をぬろう、古生物ぬりえ（③）、化石タッチ、貝殻クラフトをつくろう（④）、葉脈標本をつくろう（⑤）



1月19日（日）

多色版画（⑥）、化石レプリカに色をぬろう、古生物ぬりえ、化石タッチ、古代組紐づくり（⑦）、宙に浮かぶ不思議なボール（⑧）、古銭レプリカをつくろう（⑨）、オリジナルキャンドルをつくろう（⑩）



(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

- 5月 5日 熊本県立装飾古墳館<古墳館へ5・5・GO> (葉脈標本作り 150人)
- 6月23日 熊本県立装飾古墳館<ミュージアムキッズ古墳館> (柿渋でこーすたー 130人)
- 7月 6日 野小学校5学年PTA (草木染め 12人)
- 7月 6日 武蔵ヶ丘小学校4年1組PTA (貝がらクラフト 36人)
- 7月11日 内牧小学校放課後子ども教室 (化石レプリカ 26人)
- 7月20日 阿蘇小学校5学年PTA (草木染め 43人)
- 7月25日 和水町社会福祉協議会 (葉脈標本作り 59人)
- 7月26日 滝尾学童保育たんぽぽクラブ (貝がらクラフト 20人)
- 7月27日 熊本市立城南図書館 (葉脈標本作り 16人)
- 7月30日 松橋第1学童保育所 (空飛ぶ種子 49人)
- 8月 1日 学童保育たけのっこクラブ (石臼きな粉団子 41人)
- 8月 5日 えのきっ子クラブ (石臼できな粉団子 35人)
- 8月 9日 郡築2番町子ども会 (古銭レプリカ 17人)
- 8月10日 若葉9町内子ども会 (貝がらクラフト 34人)
- 8月16日 NPO 法人こむぎクラブ (葉脈標本作り 25人)
- 8月19日 小川学童保育所 (化石レプリカ 35人)
- 8月20日 豊福第1学童保育所 (貝がらクラフト 44人)
- 8月21日 不知火学童保育所 (葉脈標本作り 37人)
- 8月22日 豊福第2学童保育所 (貝がらクラフト 40人)
- 8月23日 松橋第2学童保育所 (化石レプリカ 50人)
- 8月27日 河江学童保育所 (化石レプリカ 45人)
- 8月31日 西合志中央小学校あすなろ学級 (化石レプリカ 40人)
- 9月 8日 砥用小学校3学年PTA (草木染め 24人)
- 9月14日 泉ヶ丘小学校2学年PTA (古銭レプリカ 48人)
- 9月16日 広安小学校5学年PTA (草木染め 60人)
- 10月 4日 有佐小学校2学年PTA (空飛ぶ種子 46人)
- 10月30日 宇城・上益城地区高等学校生徒図書委員会 (葉脈標本作り 35人)
- 11月 2日 科学展体験イベント (葉脈標本作り 65人)
- 11月 9日 科学展体験イベント (化石レプリカ 104人)
- 11月 9日 豊川小学校3学年PTA (貝殻クラフト 70人)
- 12月 7日 境目町子ども会 (どんぐりクラフト 28人)
- 12月 7日 託麻南小学校PTA (化石レプリカ 60人)
- 12月27日 Switch 宇土 (化石レプリカ 5人)
- 2月 1日 宇土小学校4-4PTA (石臼できな粉団子 40人)
- 2月 8日 熊本県立装飾古墳館<冬のイベント> (化石レプリカ 50人)

② 講師派遣

- 5月23日 県立宇土中学校 (宇土未来探究講座 80人)
- 6月 6日 県立宇土中学校 (宇土未来探究講座 80人)
- 10月20日 高等学校生徒理科研究発表会 (審査員 130人)
- 11月24日 不知火小学校しあわせふるさと祭り (石臼きな粉団子 30人)
- 11月24日 不知火小学校しあわせふるさと祭り (貝殻クラフト 24人)
- 11月26日 益城中央小学校 (社会科授業「昔の道具と昔の暮らし」 70人)

- 12月18日 上小学校（社会科授業「昔の道具と昔の暮らし」 37人）
 1月29日 豊川小学校（社会科授業「昔の道具と昔の暮らし」 37人）
 1月30日 青海小学校（社会科授業「昔の道具と昔の暮らし」 19人）
 2月18日 不知火小学校（社会科授業「昔の道具と昔の暮らし」 73人）

（５）団体利用

- 7月24日 放課後等デイケア キッズピア（体験学習 13人）
 8月20日 熊本大学（館園見学 22人）
 8月29日 熊本大学（館園見学 20人）
 10月4日 松合小学校（体験学習 12人）
 11月15日 砥用小学校（展示解説・体験学習 24人）
 11月28日 河江小学校（展示解説・体験学習 58人）
 12月6日 県立水俣高校定時制（展示解説 36人）
 12月10日 中央小学校（体験学習 30人）
 1月29日 山都町女性教室（展示解説 34人）
 2月5日 豊福小学校（体験学習 64人）
 2月19日 熊本大学（博物館実習授業 30人）

（６）博物館実習・職場体験

① 博物館実習

令和元年度（2019年度）の受け入れなし

② 職場体験

期 間 令和元年（2019年）9月2日（月）、3日（火）

受入生徒 県立宇土中学校 2人

実習内容 学芸員の仕事とは

○ネットワークセンターの仕事について

○博物館の収蔵品について（バックヤード見学）

○博物館の仕事を体験しよう

地学分野：化石レプリカ作成、化石の詳細調べ

動物分野：クモ類の採集、標本作成（液浸標本）

植物分野：標本作成（押し葉標本）、標本の配架作業

（７）熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 令和元年（2019年）5月25日（土）

登録者数 86人（令和元年度末）

(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

活動概要

熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動クラブ

① 草木染めの会

活動人数 12 人

活 動 日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践
キッズミュージアム「草木染め」の運営



草木染めの会

② 雁回山の植物を観る会

活動人数 21 人

活 動 日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査
標本や写真を使った企画展示の開催

③ くまもとの大地の成り立ち

活動人数 43 人

活 動 日 偶数月第1日曜日

活動内容 地層や岩石の現地見学会の実施



くまもとの大地の成り立ち

④ 地学研究会

活動人数 6 人

活 動 日 毎週水・金曜日

活動内容 熊本大学、その他より寄贈された標本の整理

⑤ 貝類調べ隊

活動人数 19 人

活 動 日 毎月第3土曜日

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う。
必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワークセンターへ情報提供を行う。



貝類調べ隊

⑥ 松橋地域史調査クラブ

活動人数 4 人

活 動 日 毎月第1土曜日

活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書の調査（読解）
企画展示「松橋地域に残る古文書の世界」に使用する資料の翻刻協力

⑦ シダを楽しもう会

活動人数 15人

活動日 毎月第3火曜日

活動内容 熊本県内のシダ植物の分布状況調査



シダを楽しもう会

⑧ 甲佐民具を学ぶ会

活動人数 7人

活動日 毎月第1月曜日

活動内容 甲佐町民俗資料館の民具資料のクリーニング及びメンテナンス

甲佐町民俗資料館の民具資料の台帳作成

甲佐町民俗資料館の展示の充実



甲佐民具を学ぶ会

⑨ 交流支援クラブ

活動人数 4人

活動日 毎月第1火曜日

活動内容 会員（ミュージアムパートナー）の交流の場とするイベントの開催。

ミュージアムパートナーズクラブの事務局を担当。

(9) 学校移動展示用パッケージ運用

事業目的

博物館ネットワークセンターにある実物資料を活用し、学校の教育課程と重ね合わせて作成した移動展示用パッケージを、各教育事務所や学校に配置し、授業やイベント等の展示に活用する。

小中学校

熊本市以外の各教育事務所及び山鹿市教育委員会に配置し、各学校への運用を依頼。

小学校は2種類、中学校は4種類、計6種類作成。

高等学校

生物分野を9校、地学分野を2校に配置し、運用を依頼。

生物分野は、日本のバイオームを5校に、外来生物を4校に配置。

地学分野は、3種類を1セットとして配置。

学校移動展示用パッケージについて

熊本県では、県内どこにいても博物館活動に参加できる「熊本県総合博物館ネットワーク」の構築を目指し、熊本県博物館ネットワークセンターを拠点として、企画展示や講座等さまざまな活動を展開しています。
その一環として、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する、動物標本、植物をはじめ、化石・岩石などの標本を活用し、これらの標本に触れ、解説を伴う展示を見ることで、児童・生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習内容を深めるきっかけとすることを目的、学校移動展示用パッケージを作成しております。
各学校での展示及び理科の授業等での積極的な活用をお願いします。

分野	名称	写真	パッケージ内容
小学校	生物		○ 樹形付入標本（8種類） スズメバチ、サリガニ、カマキリ、トンボ、メダカ、イモリなど ○ パウチシート（37種類） タンポポ、スミレ、クサギ、アラカシ、オオカナダなど ○ 布製パネル（3種類） 野原、林、水辺 ○ 展示ケース（2台） 熊本県を11の地域に分け、学校で履修する岩石を中心とした地域を代表する岩石16点の実物標本 ○ パネル（3枚） 展示ケースにある岩石が取れる地域を紹介
	地学		○ 布製パネルとフレーム（1セット） 熊本県を11の地域に分け、各地域に生育する植物をそれぞれ8種類紹介 ○ 植物標本（11種） 各地域の8種のうち、1種はさく葉標本を制作
中学校	植物		○ 火成岩6種類と造岩鉱物6種類 花崗岩、安山岩、角閃岩、輝石など ○ 火山噴出物 軽石・火山灰・火山弾・溶岩など ○ 県内岩石標本、新設の火山灰地
	地学		○ 示準化石 三葉虫、フズリナ、アンモナイトなど ○ 示相化石 カキ、シジミ、フナ、クスノキなど ○ 県内化石標本、新設の火山灰地
	動物		○ 標本製 モグラ（またはヒミズ） ○ 樹形付入標本（5点） ムカデ、ヤスデ、シデムシ類、ダンゴムシなど ○ パネル（2枚） 解説地

【学校移動展示用パッケージに関するお問い合わせ】
熊本県博物館ネットワークセンター（宇城市松浦町豊福1695）
TEL: 0964-34-3301 E-mail: hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

【運用に関するお問い合わせ】
各教育事務所
（山鹿・鹿本地域は山鹿市教育委員会）

学校移動展示用パッケージ（小中学校）

5 資料収集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

事業内容

収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

参加館等

23館、3市町村、資料登録件数は446,123件
(令和2年(2020年)3月31日現在)

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス

<https://kumamoto-museum.net/>

(http://jmapps.ne.jp/kumamoto_museum/)



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

事業内容

熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付

熊本県学芸員等人材データベース(web版)の作成及び公開(平成27年10月)

登録者数

140人(令和2年(2020年)3月31日現在)

URL

熊本県学芸員等人材データベース(web版)公開ページ

<https://kumamoto-museum.net/human>



(3) 資料収集・整理状況（令和元年度（2019年度）分）

①動物分野

資料収蔵点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数		計
		乾燥（剥製等）	液浸	
NB11（哺乳類）		246	124	370
NB12（鳥類）		1,005	1	1,006
NB13（両生・爬虫類）		64	329	393
NB14（魚類）		72	2,111	2,183
NB15（昆虫類）		10,566	413	10,979
NB16（多足類）		22	857	879
NB17（甲殻類）		40	943	983
NB18（軟体動物）		5,619	248	5,867
NB19（その他分類群）		19	34	53
合計	85,700	17,653	5,060	22,713

令和元年度の受入資料

ヤマネ	1点
クリハラリス	2点
倉永善太郎昆虫標本	2,226点

令和元年度の主な整理登録作業

乾燥昆虫標本作成及び登録
 立志徹郎貝類標本整理及び登録

②植物分野

収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数
NB2（植物）		212,226
NB3（菌類）		2,412
NB4（藻類）		810
合計	260,000	215,448

令和元年度受入資料

熊本大学薬学部保管標本

令和元年度の主な整理登録作業

熊本大学標本、県立第一高校標本、山城學標本、富田壽人標本、荒尾宏標本、フェイス女学院標本、前原勘次郎標本、佐野正明標本、第五高等学校標本、熊本商業高校標本の登録・配架作業

③地質分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）	登録点数
今西茂標本	1,500	1,380
長谷義隆標本	10,000	566
アトラス熊本標本	174	174
荒尾宏岩石標本	103	103
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,833	4,833
河野通幸化石標本	217	217
岩崎泰穎標本	6,500	2,259
津末昭生標本	4,300	0
熊本大学工学部標本	7,026	7,026
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,040	5,040
熊本大学理学部地学科標本	105	105
村田正文標本	1,100	6
遠藤誠道植物化石標本	600	2
斉藤林次標本	213	213
早田幸作標本	200	13
千藤忠昌標本	1,846	1846
植田和男標本	100	96
フェイス女学院 松本唯一標本	234	234
桂輝雄標本	216	216
田中均標本	8,000	2
多良木高校標本	370	370
永松允積火山灰標本	90	0
村上能治標本	200	0
ミュージアムパートナーズクラブ採取標本	300	229
その他（少数寄贈、職員製作など）	2,000	1,125
合計	55,267	26,055

令和元年度受入資料

永松允積火山灰標本 約 90 点

村上能治標本 約 200 点

ミュージアムパートナーズクラブくまもとの大地の成り立ち採取標本 30 点

個人寄贈・職員採取標本 70 点

令和元年度の主な整理登録作業

熊本大学理学部卒業論文・修士論文標本の整理・登録

田中均標本の整理

今西茂標本の整理・登録

多良木高校標本の整理・登録

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

④歴史分野

資料収蔵点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	2,257
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	422	422
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	511	511
松本達也寄贈資料	64	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清土寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,206	2,206
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	0
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証文類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191

熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	133	133
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	511	0
江藤政光所蔵資料	16	16
本田力寄贈資料	1	1
その他（購入等）	21	21
合計	40,735	10,350

令和元年度の主な整理登録作業

熊本私立測量学校関係資料、江藤政光所蔵資料、本田力寄贈資料の整理・登録

熊本市小夏家資料、宇城市小田家資料の整理

宇城市小田家資料などのマイクロフィルム化及びデジタル化

⑤民俗分野

資料収蔵点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数	登録点数
衣食住	衣	654	277
	食	980	630
	住	401	249
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	130
	採鉱・冶金	11	10
	漁撈・製塩	152	146
	狩猟	10	10
	養蚕・畜産	186	194
	繊維	82	83
	諸職・手工芸	413	389
交通交易	交通	210	152
	交易	115	76
社会	社会	49	24
信仰	神社	10	10
	寺院	47	42
	民間信仰	30	25
民俗知識	教育	141	62
	医療	50	19
	暦	9	6
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	440	83
儀礼	年中行事	56	54
	人生儀礼	41	40
小計		4,932	3,409
写真資料		154,400	73,791
合計		159,332	77,200

令和元年度受入資料

生活用品 約18点

令和元年度の主な整理登録作業

荒木嘉代子所蔵資料、草野春美所蔵資料、大洞一成所蔵資料、岡村雄治所蔵資料、辻あきこ所蔵資料、白石巖写真資料

6 資料

(1) 令和元年度（2019年度）職員一覧

所長	松井 浩	
課長補佐	國本 信夫	(民俗)
参事	中原 秀隆	
参事	上塚 穰二	(地質)
参事	金重 雅彦	(植物)
参事	中村 圭子	(歴史)
参事	金子 誉士	(動物)
博物館活動囑託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動囑託	前田 哲弥	(植物)
博物館活動囑託	廣田 志乃	(地質)
博物館活動囑託	中藺 洋行	(動物)
博物館活動囑託	古澤 広大	(歴史)
資料整理囑託	安田 晶子	(植物)
資料整理囑託	堤 将太	(歴史)

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）
 - (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

- 2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 知事は、前条第 1 項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者（次条第1項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第3号に該当することとなったとき。

（使用料）

第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

- 2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。（指定管理者による管理）

第12条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。
- 3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から9条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。
- 4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。
- 5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項（第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条第5号に掲げる業務
- (2) 第7条第1項の許可に関する業務
- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

(利用料金)

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

- 2 利用料金の額は、別表に定める額に1.3を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第15条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

(損害賠償)

第16条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第18条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第3条第5号、第7条から第15条まで、第18条及び別表の規定は、平成27年10月1日から施行する。

別表(第10条、第14条関係)

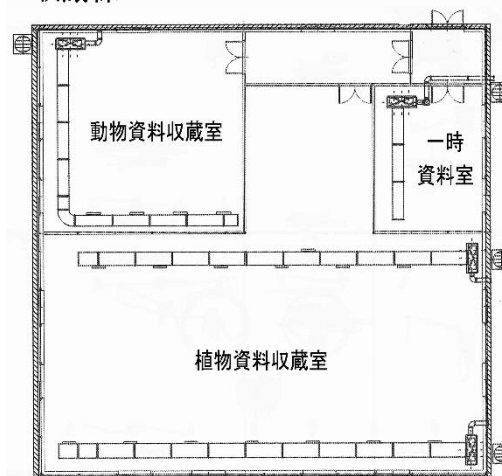
区分		単位	金額
多目的広場	東面	1時間につき	700円
	西面	1時間につき	800円
多目的広場管理棟会議室		1時間につき	100円

備考 使用する時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間とみなす。

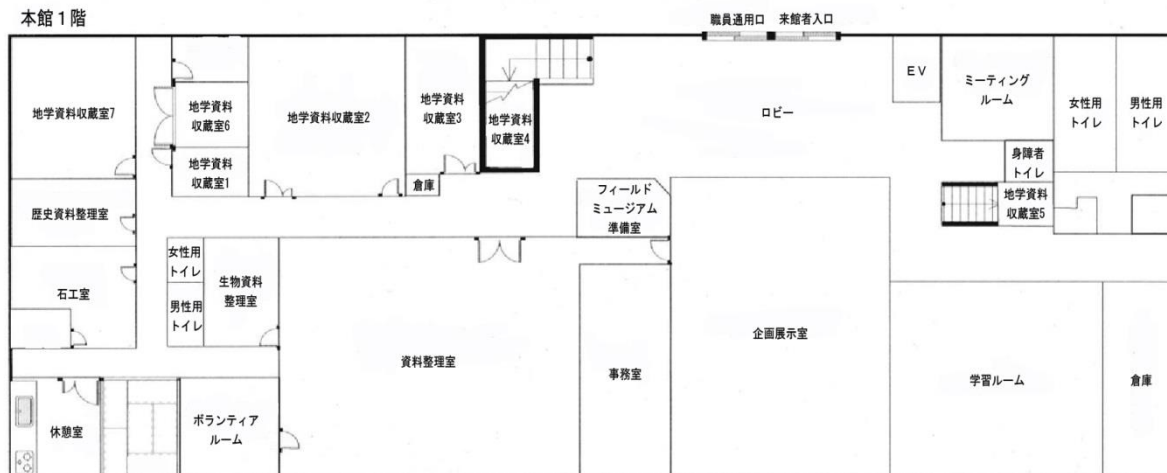
(3) 施設平面図

敷地概要 所在地 宇城市松橋町豊福 1695
面積 61,917.40 m²
建物概要 本館 構造 RC 造 2 階建
建築面積 1643.30 m²
延床面積 2889.27 m²
収蔵棟 構造 RC 造 平屋建
建築面積 493.63 m²
延床面積 480.26 m²

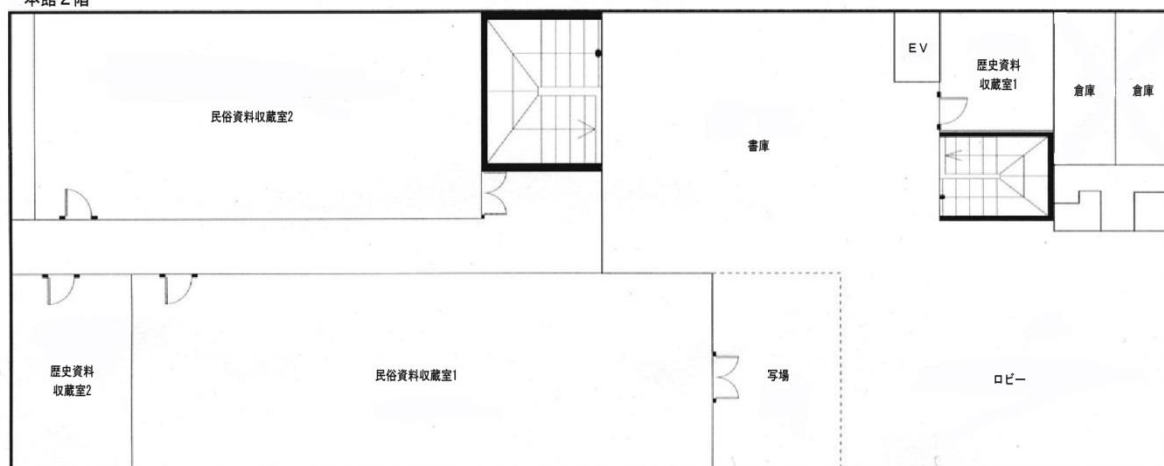
収蔵棟



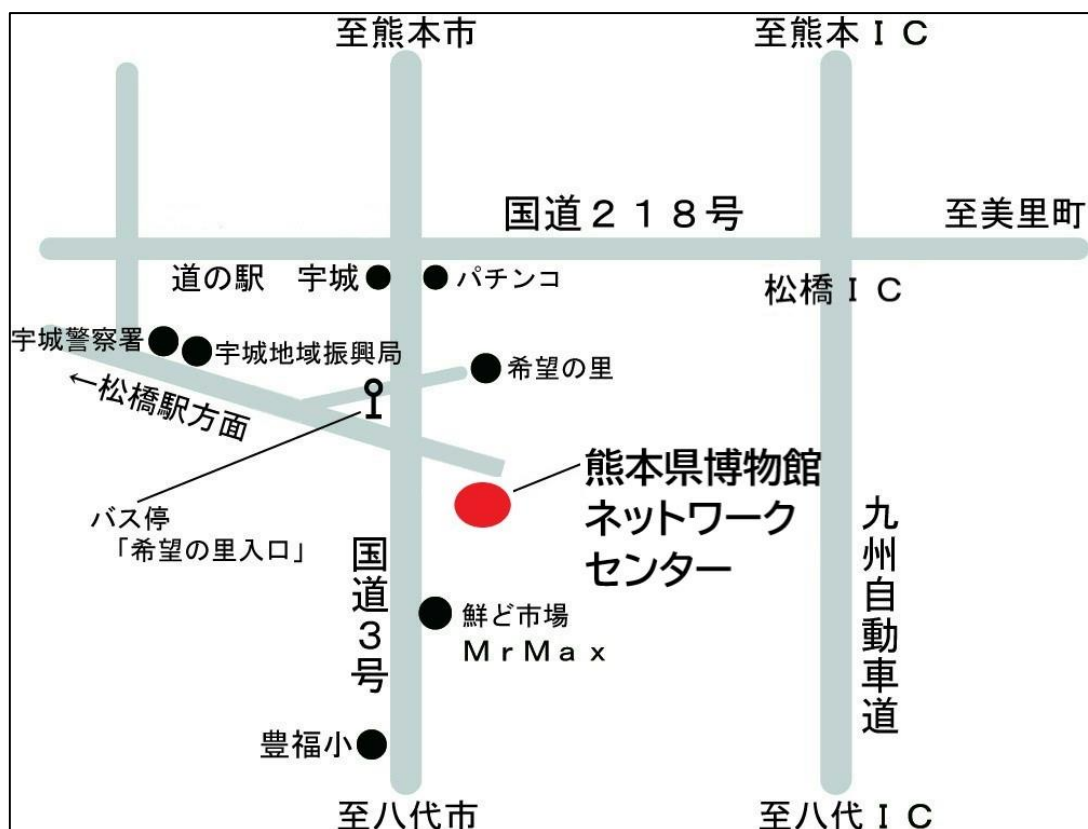
本館 1 階



本館 2 階



(4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR松橋駅より約3km

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

令和元年度（2019年度）熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695

電話 0964-34-3301

発行日 令和2年（2020年）8月18日

発 行 者 熊 本 県

所 属 熊 本 県 博 物 館 ネットワークセンター

発行年度 令和2年度（2020年度）